

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成23年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立八代射撃場	所管課	スポーツ健康課
所在地	笛吹市八代町竹居大口山	設置年月日 (改築年月日等)	昭和59年5月
管理方式	指定管理者((財)山梨県体育協会、平成21年4月1日～平成26年3月31日)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立射撃場設置及び管理条例		
設置目的	ライフル射撃競技の振興と競技力向上を図るため、県民に射撃の場を提供すること。		
主な施設内容 (定員等)	空気銃射撃場38座 ビームライフル射撃場6座 固定標的射撃場(スモールポア)26射座 駐車場台数:乗用車70台		
主な業務内容	○利用の承認に関する業務 ○施設及び設備器具の維持保全に関する業務 ○その他教育委員会が必要と認める業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	山梨県立韮崎射撃場(平成21年7月31日閉鎖)
-------------------	-------------------------

3. 利用状況

単位:人、%

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (目標値)
利用者数	エアーライフル	1,737	1,469	1,769	
	小口径ライフル	1,291	1,082	1,127	
	ビームライフル	483	567	630	
	利用者数合計	3,511	3,118	3,526	
	目標値	3,100	3,100	3,100	3,100
	目標値設定の考え方	近県射撃場が閉鎖していることや夏休みを無休営業とすることや、例年の実績を勘案して目標を設定した。	近県射撃場が閉鎖していることや夏休みを無休営業とすること、及び例年の実績を勘案して目標を設定した。	近県射撃場が閉鎖していることや夏休みを無休営業とすること、及び例年の実績を勘案して目標を設定した。	近県射撃場が閉鎖していることや夏休みを無休営業とすること、及び例年の実績を勘案して目標を設定した。
	対21年度比	100.0%	88.8%	100.4%	88.3%

4. 収支状況

単位:円、%

		平成22年度	平成23年度 (計画値)	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (計画値)
収入	施設利用料	1,671,983	936,000	1,834,134	814,000
	指定管理者委託料	5,026,000	5,167,000	5,167,000	5,378,000
	その他	0	0	0	0
	収入合計(A)	6,697,983	6,103,000	7,001,134	6,192,000
支出	人件費	4,472,372	4,376,000	4,459,872	4,376,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	1,837,567	1,727,000	2,316,522	1,816,000
	(うち外部委託費)(B)	345,350	345,350	246,750	266,600
	支出合計(C)	6,309,939	6,103,000	6,776,394	6,192,000
収支差額(A-C)		388,044	0	224,740	0
外部委託比率(B÷C)		5.5%	5.7%	3.6%	4.3%
利用者一人当りの経費		1,612	1,667	1,465	1,735

※直営の年度は、県の収支を記入し、指定管理者施設の年度は、指定管理者の収支を記入する。
 ※利用者1人当りの経費の算定式は、直営(H〇～〇年):(支出-収入)÷利用者数、指定管理者(H〇～):指定管理者委託料÷利用者数。

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成23年5月、8月、11月、平成24年3月 実施方法:施設利用者へのアンケート、回答数:105人
-------	---

単位:%

調査項目	満足	やや満足	やや不満	不満
①施設設備の整備状況	32.2%	43.5%	17.5%	6.8%
②利用予約・手続きの方法	58.6%	35.4%	3.0%	3.0%
③利用料金	51.0%	37.3%	8.8%	2.9%
④職員の対応	69.5%	25.7%	3.8%	1.0%
各項目の平均	52.8%	35.5%	8.3%	3.4%

※調査項目は、施設ごとに適宜変更する。

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・スモールボア射場に設置してある標的交換機はその都度取り付ける必要があり、重くて大変です。落として破損する事もあるので改善を強く望みます。 ・トイレの水洗化を望む ・ビームライフルをもっと増やしてほしい。 ・エアコンを付けてほしい。 ・以前に比べるとトイレが綺麗で気持ちが良い。等
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備改善については今後財政状況を踏まえて検討していく。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	事業計画書どおり実施した。	事業計画書どおり実施されている。 引き続き事業計画書どおり適正に業務を行うこと。
運営業務	事業計画書どおり実施した。	事業計画書どおり実施されている。 引き続き事業計画書どおり適正に業務を行うこと。
自主事業	事業計画書どおり実施した。	事業計画書どおり実施されている。 引き続き利用者サービスに努めること。
利用状況	・伊勢原射撃場の営業再開が遅れていることで、利用者は近年並みに推移した。 ・早期除雪対応により、降雪による利用者への影響が避けられた。	利用者数は前年度を上回っており、冬季の降雪による影響の緩和等による結果と考えられる。
収支状況	委託している業務を数年契約にするなどし、経費を節減することができた。収益を活用し、玄関ホールの壁の補修を行うなど環境整備を行った。	経費削減が図られており、経営努力の成果がうかがえる。また、独自に施設補修を行うなど施設の環境整備に努めている。今後も適正な施設の管理運営を行うこと。
利用者満足度	施設改修(改善)の要望が多い。老朽化した施設ではあるが、親切な接客等により満足度は良好であった。	事業計画書どおり実施されている。
運営目標の達成状況	利用者数の目標値3,100人に対し、3,526人の利用実績があり目標値を上回った。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	満足度は88%(満足とやや満足の合計)であり、良好な結果と言える。また、施設維持業務、運営業務ともに事業計画書どおり業務が行われている。さらに、収支も黒字となっており、経営努力の成果がうかがわれる。今後も適正な施設の管理運営またPR活動等に努めること。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	今後も協定及び事業計画書提等に基づき適正に対応することを確認した。	

7. 管理体制(組織図)

